



湖北



長浜、米原両市で組織する一部事務組合で環境衛生の事務事業を行う「湖北広域行政事務センター」(長浜市八幡中山町)は、脱炭素、二酸化炭素排出削減に向け、サトウキビ由来のバイオマスプラスチックを25%以上配合した「可燃ごみ指定袋」を作製した。約1年分の販売枚数に当たる538万枚で、すべて石油由来のごみ袋に比べて二酸化炭素削減量は約80%になる。杉の木約5700本が1年間に吸収する二酸化炭素に相当するという。

事務センター(長浜市八幡中山町)は、脱炭素、二酸化炭素排出削減に向け、サトウキビ由来のバイオマスプラスチックを25%以上配合した「可燃ごみ指定袋」を作製した。約1年分の販売枚数に当たる538万枚で、すべて石油由来のごみ袋に比べて二酸化炭素削減量は約80%になる。杉の木約5700本が1年間に吸収する二酸化炭素に相当するという。

水草堆肥、今年も仕込み中



琵琶湖で異常繁殖している水草を堆肥化して販売している「明豊建設」(長浜市加納町)が5年目となる今年も8月から堆肥の仕込み作業を進めている。県の水草しゅんせつ時期に合わせて8月半ば〜10月後半にかけて仕込む。県は年間約6000ト以上水草をしゅんせつしており、同社は約200トを買い取っている。

明豊建設は「炭そ病被害の防止にも一定の効果が見られる。水草を廃棄物としてではなく、価値のある資源として認識してもらいたい」としている。

長浜 サトウキビからバイオマスごみ袋 湖北広域行政事務センター

湖東

医療法人「友仁会」は彦根市河原2に9月、看護小規模多機能型居宅介護事業所「友仁ナーシングホーム河原町」を開設した。医師らと連携し「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」といったサービスを提供する。高齢化が進む旧市街地で、地域密着型サービスを展開することになった。同ホームは「皆さんが安心して過ごせるよう、街並みに溶け込む外観にしました」とPRしている。利用問合わせは(0749・21・6335)。

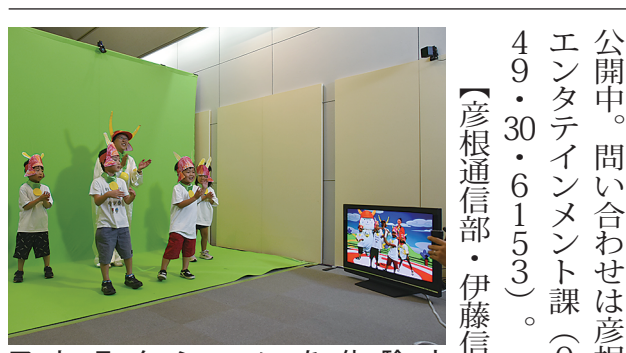
周辺の河原町芹町地区は江戸前期、河川の付け替えに伴って形成された。S字を描く街路に沿って江戸(昭和期)に建てられた街並みが残っている。約5分の地区に切り妻、黒瓦、虫籠(むしこ)窓などを備えた町家が並び、地元では「花しょうぶ通り」の愛称で親しまれている。2016年には国の重要伝統的建造物



「花しょうぶ通り」に開設された友仁ナーシングホーム河原町

「ひこにゃんとおどろう」 無料体験 彦根城で11月6日まで

国宝・彦根城(彦根市金亀町)の開国記念館でAR(拡張現実)を使ったアトラクション「ひこにゃんとおどろう」が無料体験できる。モニター画面上で人気キャラクター「ひこにゃん」とダンスが楽しめる。開館は午前8時半〜午後5時。11月6日まで。アトラクションの流れは①スクリーンを背景にして立つと、体験者とひこにゃんがモニターに映し出される②「ひこにゃん音頭」に合わせて一緒にダンスする③モニターにダンスの採点が表示される④さらに高得点を目指す場合は再チャレンジ⑤完成した動画をスマートフォンに保存。S



子供らから彦根市体験提供

彦根 「花しょうぶ通り」に介護施設 医療法人友仁会

NS(会員制交流サイト)で発信もできる。お手本動画(https://www.youtube.com/watch?v=4bFof-EznS8)も公開中。問い合わせは彦根市エンタテインメント課(0749・30・6153)。